十八日夕刊

磐城毎日新聞

□本紙一ヶ月 金六十圓
□郵稅 金十五圓
□一部賣 金二圓
□廣告料一行 金六十圓
□雜報一行 金九十圓
□場所指定一行 金一百二十圓
□電話（平）七八六番
□振替口座仙台 一〇八五三
福島縣平市 十六番地
發行所 磐城毎日新聞社
發行兼編輯印刷人 岡田弘成

感想

向　達巳

此頃の小説はとても最後まで讀む氣にならないね、相當評判の良い小説で、釣られて讀んでもさうだ……。とはよく聞く話であるし、現に私なども屢々この經驗を繰り返すことが多い。實際何一つとして興味がないのだ。所謂大家と云ふ連中が鳴りを靜めてしまつて、現在の流行作家と云へば、一作が當るとそれの亞流をペン〳〵とヂャーナリズムに押付けてゐる輩か、或ひは時流に投じた連中ばかりであるから、これでは讀む氣にならないのは當然であろ。

何故、一頃の様に小説が面白くなくなつたかと云へば、これが時局による麻痺と云ふ奴なのであらう。個性の喪失とは古い言葉だが正にこの字名の通りなのである。ヂャーナリズムが小兒病になつたお蔭で文壇までがお追從に神經衰弱に罹つてしまつたのだ。これにはあはただしい戰爭の經過によつて社會情勢が急テンポで變化してゐる背景も認めてやらねばならぬが、それにしても、日本の文壇などと云ふものは、この位の値打しかなかつたのであらうか。

文壇がやる仕事は、この様な思想的混迷期にあつては、自然主義や左翼の小説が果した以上のものがある筈である。社會問題にしても、複雜して解決出來ない事柄が山積してゐる。これらを先づ理論化し、邁進化すべきである。何かと云ふと、大陸のことを書かねば、現代の小説家として恥かしいと考へる向も多からしいが、假りに大陸について理解するとしても、その前にインテリのどれ程が、自分の足許について確固たる基礎を持つてゐるか。さうでないからこそ近頃の文學は面白くないのである。

現在、文學の景氣が良いので喜んでゐる向も多いが、これは芝居の景氣が良いのと同じことなのである。今の中にマトモな氣持に返つて、しつかりした文學理念を持たざる限り、現今の文壇は文學史上、一大汚點を殘すことになるかも知れない。

12月19日

▽國際聯盟理事會で資源開發研究會設置決定（昭和十二）

その日〳〵

○

片手で錐は揉めぬ　日本俚諺

連續講談　異説赤穂浪士

［84］

別題「異說赤穗義士」「赤穗誠忠錄」

桃川若燕

畫　磐城　木齋

汐入川の大鱸

『二合や三合で足りるかい、五升ばかり持つて來い、早く行け』

『ヘイ』

仕方がない文助はプッ〳〵云ひ乍ら餌を取りに行く、跡に與太郎は頻りに糸を垂れるが少しもつれないで、向うを見ると餌が撒いてあるから小僧は面白いやうに釣れる

『小僧』

『ハイ』

『貴樣が釣るから此方には魚が來なくな、貴樣はこれから此の川でつりをするな』

『そんな無理な事を仰しゃるもんぢゃございません、私は魚を釣つて祖母さんを養つてゐるものですからそれにお祖母さんは目が潰れてゐるので……』

『目が潰れたつて乃公が潰したんぢゃアない』

『ハイ、ではもう二三十釣ります間、此處へ置して下さいまし』

『何んだ、もう二三十釣る、慾張つた小僧だ、馱目だ、向ふへ行け、行かなけりゃアその分には捨て置かぬぞ　此れも此方へ寄越せ』

と小僧の前にあつた魚籠を引きよせて中の魚を自分の魚籠の中に入れてしまふ

『若樣、御冗談をなすつちゃア困ります　私が先刻からやつとの思ひで釣りましたので――』

『默れ、太い奴だ』

何方が太いか判らな、悠々自分の魚籠に魚を入れてしまひ、小僧の魚籠を川の中へ投げ込み、その上竿も奪ひ取るとピシリ打ち折つて川へ投げ込んでしまつた。

『小僧今日は許してやるが以來この川で釣りをすると縛つてしまふからさう思へ、余の御父樣は郡奉行だ。此の川はお父樣の川も同樣だ、サッサと行け』

『ヘエ――』

餘りの事に小僧は呆然としてゐたが、

『では仰しやる通り今日はこれで歸ります、明日から中の浦の方へ參つて釣りをいたします』

『何處へでも行け』

『魚籠は家に惡いのが一つございますが、竿は貴郎が折つてしまつたのでもう一本もございません、どうか貴郎の竿の一番惡いのを一本下さいまし』

『ナニ竿をくれろと、馬鹿な事を言へ』

『でも、それでは私が明日から釣りが出來ません、どうか此の一本を』

と一本の竿に手を掛る

『此奴、人のものに手をつけると承知しないぞ、此の泥棒奴』

『いくら郡奉行の若樣でもそんな判らない事を仰しゃるものぢゃございません、私の竿をお折りになつたので、惡いのでも一本から一本下さいと願つてゐるのです。泥棒とは餘りでございます』

『オヤ此奴馬鹿な奴だな』

と云つたが何方か馬鹿だか判らない。

『不埒な事を云ふとその分は捨て置かんぞ』

『捨て置かんと仰有つて……』

『エ、まだ云ふか、斬つてしまふぞ』

いきなり柄へ手をかけ、世の中に馬鹿程怖いものはない、父親の與左衞門も倅の馬鹿は知つてゐるから餘り斬れるのは帶させないが、しかしまるで鈍刀でもない、與太郎は突然脇差を拔く逆手に取り直し、

『小僧無禮な事を申すとその分には捨て置かぬぞ』

云ひ乍ら振り廻した。

病床雜詠

後埜上　保

○病室の窓へ適へる庭松に霧のをぼりの雨ふりやます

○雜草の青くのびたる雜木山おのづからなる徑がつき居り

○山に來てところあかるしひるがへる雜木若葉の色やはらかき

○夏子木の花散りにけり土の上に白きが散りすがすがしけれ

○もり上る雜木若葉の上にして白き病舍の斜めに見ゆる

田毎の
おしること
おぞうに
中田町電632

おでん
たつた揚
やきとり
一平

小兒科・內科
酒井醫院
入院隨意
平市南町（電五五五番）
醫學博士　酒井　保

新刊書籍
月刊雜誌
特價圖書販賣店
三英堂　村山書店
平市中央通（驛前通）

お醬油は……ヤマフく
味噌　醬油
たひら正宗
鰹節　食品料
塩屋
山崎合名會社
福島縣平市
電話（營業部一〇番　本店二七番）
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

平看護婦會
附属に
家政婦會員を募集
致します
電話三〇七番

內臟外科
泌尿器科
レントゲン科
北川外科
○入院隨時
醫學博士　北川芳夫
平市新川町（電四六四番）

新秋の味覺
とんかつ專門の店
奧亜の客を前にどうぞ一層の御ひいきで御引立をお願ひ致します
▼出前は迅速に御つとめ致します
平市仲田町（電話四六五）
かの家

四邊にはいに漂ふ
秋色を！
お賞で下さい。
割烹
鐵道指定旅館
小瀧
電話小名濱一〇三

酒　乙な肴で
おでん
味鶴
平三田小路

肋膜。氣管支。關節。神經痛。肺炎。ロイマチス
扁桃腺・中耳炎・骨膜・腰痛・ぢ疾に
漢方貼藥濕布で名藥
生公華
藥價　三圓五十錢　四圓　八圓
平市五丁目角
專賣店　山野邊藥局

耳鼻咽喉科專門
醫學士　鈴木正男
齒科口腔外科
日本齒科醫學士　鈴木
（入院のお需めに應ず）
（看護婦及び見習看護婦募集）
平市□町（電話六八三番）
藤田女學校前
鈴木醫院
內郷村高坂　磐炭病院前

男女車掌募集　數名
年齡16〜19
未經驗者ニテモ可
給料其他委細面談
平市驛前
野崎交通自動車株式會社
電三四〇・三四三

西村屋藥局
電話三番です
藥品百貨
寫眞機材料店です
平市本町二丁目
西村屋藥局

◎◎◎◎◎◎
臨時に人手を必要な方
（御婦人で職を得たき人）
當會を御利用下さい
小名濱町
久保田家政婦會
會長産婆　久保田イネ

産婦人科
外科一般
花柳病科
【見習看護婦募集】
小名濱町小學校前
黑澤醫院
醫學士　黑澤　廣
電話四五番

口腔外科、齒科一般
レントゲン科
門馬齒科醫院
院長　門馬忠男
小名濱町中島通

齒科一般
佐々木齒科醫院
日本齒科醫學士　佐々木三郎
泉村小學校前　電話一番

日本油脂株式會社
特約店
ペイント類、ボイール油
ドライヤー、防錆塗料
船底塗料、屋根塗料
黑板塗料、
一手販賣
イ
磐城水産工業株式會社
小名濱町築港內　電一四〇

口腔外科
齒科一般
植田町（電話一七番）
森合齒科醫院
院長　森合芳男

口腔衛生
口腔外科
矯正科
鈴木齒科
小名濱町銀座通り

割烹
はまや
小名濱公園內
電話百廿番

御會食に
御商談に
割烹
幸樂
小名濱町幸樂通り
電話201番

內科、産科
婦人科
▽一般診療に應ず▽
▽病室完備入院應需△
久保田醫院
小名濱町　電話二二番

內科、外科
小兒科、花柳病科
會田醫院
小名濱町上横町

外科、花柳病科
內科、レントゲン科
草野醫院
小名濱町中島　電話一三七番

內科、外科（內臟、整形）
花柳病科、皮膚科
石井醫院
小名濱仲町　電話十八番

磐中、磐女增學級案
町村長會議で負担協議
八萬圓の工費に市町村惱む

縣立磐城中學並に磐城高女の新學期增學級は確定的になり十六日縣土木課の土田營繕技師が兩校の實地調査に基き設計を急ぐことに成つた爲、地元側でもこれと併行して工費總出方法を急速に決定するの必要に迫られ明十九日午前九時から市公會堂に石城町村長會を開いて郡全体としての工費負擔額、各町村割當て金などについて協議することになり、兩校增學級問題も漸やく具体化するに至つた

定級增加に伴ふ兩校の工費は土田技師の設計を俟たねば判然しないが、學級增加に依つて必然的に設備の改善と校舍の模樣替へなどが附隨する爲磐中二萬五千圓、磐女五萬五千圓、計八萬圓位は必要と見られ、この內兩校の同窓會が各五十圓位宛一萬圓を負擔するものと見て殘りの七萬圓を市町村が分擔することになり、炭礦や事業家方面も概して芳ばしからざる狀況にあるから一般的寄附金は大した期待をかけられず市町村側も財源難の折柄だけに尠なからず頭を痛めてゐる

頰刺しの最盛期で
泉驛の悲鳴
滯貨防止に申告制實施

鰯の盛漁に入つた小名濱、江名、中ノ作、豐間の各漁港はこれに呼應し頰刺加工業者も活潑な活動を開始した爲、出荷が一時に殺踏し歲末の一般貨物だけでも困憊してゐる狀態なので積出し驛たる泉驛では滯貨の整理をもて餘し不取敢二千車內外の貨車を動員滯貨一掃に努める一方歲末忙繁に備へこゝ當分の間發送の貨物の申告制を執ることに成つた

この申告制に依ると前日中に頰刺出荷數を申告することとなる爲、干燥の程度如何に依つて出荷數量に相當增減を來し、これが爲業者は天候と照し合せて出荷數量を判斷せねばならぬので一と苦勞だとこぼしてゐる

前年の記錄打破に
七十萬圓目標
四倉揚繰船好漁續く

四倉港の秋職揚操網漁船は現在八統出漁中で十七日までの水揚高は仲町長谷川西次郎氏所有不動丸の約十四萬八千圓を筆頭に最低の鈴木米吉氏所有金成丸五萬八千圓を合し總額四十三萬圓に達してゐるが前年の秋職漁獲高は百十八萬千餘圓に上つてゐるから前年の漁獲高に達するまでには舊十二月末まで今後四十日間に七十萬圓の水揚げを要する爲各漁船大馬力をかけ前年の記錄突破に邁進してゐる

然し漁期に入つて以來各船共連日好漁をつゞけ十六日の如きは鈴木春治氏所有善寶寺丸の八千圓を最高に一日の水揚げ三萬二千圓を擧げこの分で豊漁が續くと四十日間に七十萬圓の水揚げは易々たるものと船主側は安外樂觀し切つてゐる

となりぐみを語る (14)

あの街この町

團体の仕事も『隣り組で』

十五丁目三組　第十群隣り組（七）

各種婦人團体の手を煩はす事等も（例へば茶殼集め、廢品回集、演劇等の入場切符賣り）此後どし〳〵隣組でまとめ幾分たりとも御手傳ひしそれによつてはぶき得た團体の余力を戰場にある私達同胞の遺家族の一員とあつて手不足をおぎなつて頂く樣願ふ次第です

◇　◇　◇

第三回常會申合せや話會ひ等は稿が長くなりますので後日又書く事といたします、以上の樣な次第にて皇道精神と經濟心と相まつてこそこの時局を乘切り國內の經濟は先づ家庭の主婦からと經濟的に精神的に第二國民の母であり母たらんとする婦人のため特に情操的、智的方面にも大なる向上を得度く常會を利用し其の道の人を招き、解り易き話の中に最も自然に認織され自己練成される樣お互ひに努力いたしたいと存じます、

金錢を取扱ふため係員は暫定的に決定してありますが他は一際係を決めず常に他動的でなく自動的に全体の責任として處理して行くことにしております、したがつて當群內の善惡美醜は皆一体の責任となつてゐる譯けです、唯十六軒の中一、二軒出席もされず何か意に滿たざるのある事と推しますが二宮尊德翁の敎訓に

落ちたるイモは
あくまで拾つて洗へ

とはありますが何時も何時も落ちては拾ふよごれたイモのため綺麗な他のイモ迄がよごれる事を怖れる次第です、しかしこれもやがて時局を認識され悟て頂けるとは信じて居りますが落ちるイモのある事は自己の至らざる不注意と責任であると深く自責の念に耐えないと共にこうしたイモを常會長なり班長さんが拾つて下さつて自己の掌中に置くのみに留めず再び私達の槽に入れて頂くことこそ望ましき事と思ひます、

又某知人から君の群は少しやりすぎはしないかとの質問を受けましたがやり過ぎとか急漸だとかいふ言葉が何であるか理解に苦しむ次第です、少なくとも吾人の今日迄が自由經濟の産んだ懦弱さと資本主義の放漫さと西洋文化の惡趣味との一つのカクテルの中に生きて來た自分達で今隣組が其の境遇と環境とに從つて行かうとする事は大和民族の本來の姿であり惰性から來た蛇足を棄て眞の日本國民に還る事でやり、過ぎても又急激な變化の何物でもなく、丁度遊び疲れた子供が我家に歸ると何等異つてはゐないと思ひます、それ程自然の還元である筈です、

希望いたしたき事は隣り組の常會のみに留めず各組長の常會、班長の常會、常會長の常會と都合の出來得る程度に每月一回開かれ隣保親善と同時にイワユル下意上達、上意下達を計つて頂き度い、粗雜なる稿ながら善惡共ありのまゝを寄せた次第です。

（鹽谷茂雄稿）

八紘丸進水
磐城水工の遠洋漁船

小名濱町磐城水產工業會社が東北振興より借受け契約を結び目下清水港で造船中の遠洋漁船鐵鋼船八紘丸は二十五日頃進水の豫定なので社長小野晋平、取締役近藤安雄の兩氏は十五日造船狀態、進水式の準備の爲め清水港に出向、遲くも本手內には廻航されるものと見られてゐる

先月は三代義勝氏經營の第一大勝丸が進水され旣に南洋海上に鮪を追つて處女航海中であり水工の八紘丸も一月早々南洋目指して勇飛する筈で漁業小名濱の面目躍如たるものがある

米穀管理案の制定で
配給機構が變更さる
農家地主の買溜めを防ぐ

米穀國家管理規則の制定により米穀配給方法に變更を生じ從來の米穀配給通帳は一月一日から改められ新通帳が配給さるゝ事となつたので平署經濟係りでは十九日午前九時から同署會議室に管內町村長の參集を求め右に關する指示注意打合せをなす事となつた

即ち從前各家庭に配布されてゐた米穀通帳は收獲前の保有米を基礎としてなされたものであるが收獲も終つたので自作小作農は勿論地主に至る迄相當の持米が生じたので之が供出迄の間〃持米無し〃と稱し買溜めをなす不屆者のなしとも云へ難く之が防止策も其の一ツの理由で其他規則に照合して通帳配布し直しの要を生じた結果である

懸案の土地買收成り
市道路網確立
材木町高田氏も時流に添ふ

平市材木町木炭商高田衛さんの土地家屋（鍜冶町接續西角）買收問題は十數年來の懸案で町制時代から土木委員が接衝して纒らず、聚樂館から新川へ抜ける水戸屋前道路を一部擴張しても高田さんの家屋一軒が障害と成つて折角の道路計劃も水泡に歸してゐる爲現土木委員一同數次に亙づて接衝の末高田さんも市の發展に備へる都市計劃の道路案と新体制に協力するの建前から遂に納得し十七日二千五百圓で土地家屋買收の調印成り、多年の縣案解決、土木委員の功績に感謝されてゐる

高田さんの土地買收に依つて水戸屋前から仲町間の江筋を暗渠として道路を擴張新設工業學校と商業學校間の八間道路に連絡する幹線道路を作ることに成る

本社へ傳書鳩
〃迷ひ込む〃
淀橋・谷川の符號

十八日午前九時頃本社へ可愛傳書鳩が迷ひ込んで來た、足輪には「淀橋、柏木テ二九六長谷川」とあり、仙台あたりから東京へ飛翔させたのが途中鷹などに襲はれて迷込んだらしい

本社では大切に飼育し淀橋警察署へ照會を發した

二重の勤で
老母扶養
孝行藝妓に同情集る

四倉町太夫坂藝妓置屋澤の家方抱藝妓小妻事伊原キクさんは四年前から同家に雇はれてゐるが昨年郷里から六十五才になる母親ツネさんを呼び寄せ近所に二人で別居暮しを續けお座敷の余暇を利用して午前七時頃から夜九時頃まで海產物商丸金さんに雇はれ鰮製造加工の女工さんとなつて夜晝二重の勤めして老母を養つてゐる爲孝行藝者の評判高く近々の人々や同輩衆から同情されてゐる

市民税納期
二十六日へ繰越す

去る十五日の市會で決定した新税市民税賦課について市當局は歲末も迫つてゐる爲財務員總動員で晝夜兼行整理を急いでゐたが今八日漸やく切符を發行した、納期は二十五日であるが祭日に當つてゐる爲一日繰越して二十六日が納期と成る譯である

工場協會
四倉支部
二十四日總會開く

縣工場協會四倉支部に於ては來る二十四日午後一時より警察署に定期總會を開催し優良工場員の表彰も行ふ

納稅表彰

勿來町では十九日午前九時から青年會館において優良納稅組合五十五組を表彰併せて映畫會も開催する

小名魚市場の
鑑札更新
二十四日鑑定會開く

小名濱魚市場では毎年鮮魚仲買人の鑑札更變を行つてゐるが十七日に申込の締切、二十日は鑑定會を開きその決定を見た上二十五日より鑑札の交付をするが今回の申込者も前年と大差なく大凡百二十人內外の模樣である

因に小名濱魚市場仲買人たらんとするには三ケ年以上本町の鮮魚商に從事し鮮魚商組合の同意があり二人以上の保證人と動產不動產等擔保のあるものと云ふ辛い條件なのである

墓參に來平の
大井川大佐
家族同伴して赴任

鳥取聯隊區司令官に榮轉した元磐中敎官大井川八郎大佐は十七日來平、十九日郷里磐崎村へ墓參、平市居住の家族を伴ひ二十日赴任する

衛生研究會
二十日總會開く

石城郡內十八ケ町村並びに磐城、入山、古河の三大炭礦と平市內平產婆看護婦、石城產科婦西學校より成る平衛生事務研究會の總會は二十日午後一時から平署會議室に開き平署の指示注意事項があつた後各種協議をなす

吏員の二十割
湯本の賞與

湯本町では二十一、二日頃町役場吏員及び學校職員に對し年末賞與支給するが町役場事務最近の輻輳振りは物凄くしかも其の割合に人員增加を圖らず幾人前を働かしてゐる爲吏員だけは特に二十割を支給する筈である

尙學校方面は從來通り十割の豫定であると

平婦人會で
講演と映畫會

平市婦人會では文部省並に航空研究所囑託の樫村勇氏を招聘二十日午後零時半から平第一小學校に第十三回總集會を開き映畫と講演會を開催する

久の濱信組で
事務所新築

久の濱町信用組合では工費三千圓で驛前通りへ二階建の事務所を新築することになり工を急いでゐるが來月中に竣成る

四倉奉公會へ
百圓寄附
中野中佐歸還記念に

四倉町字町頭居住陸軍中佐中野正太氏は永らく福島縣隊區司令部に勤務してゐたがこの程除隊になり「留守中は町內の各位に大變お世話に成つた」とお禮に町銃後奉公會へ金百圓寄附した

新妻上等兵
無言の凱旋
十九日午後七、三四分着

平市胡摩澤出身上等兵新妻不二雄君の遺骨は明十九日午後六時二十四分平驛着磐越線で故郷へ無言の凱旋する

尙同君の市葬は二十四日午後一時から第三小學校で執行することに決定した

飯野村葬
二十四日學校で執行

石城郡飯野村出身上等兵志賀智富、同上等兵鈴木宏美兩君の村葬は二十四日午後一時から同村小學校で執行する

防空映畫

植田署では次の日割で管內の防空映畫の會を開く

△二十日錦△二十一日呉羽紡績△二十二日大日本炭礦△二十三日勿來

★★★★映畫★★★★
十九日替り

聚樂館（東寶）

『オツサン』大會

〃親父三重奏〃

主演、柳家金語樓
高勢　實乘
大辻　司郎

〃東京ブルース〃

主演、奥山　彩子
高勢　實乘

〃エノケンの彌次喜多〃

榎本　健一
二村　定一
若原　春江
高勢　實乘

ニュース（大四十錢）

世界館（新興）

〃あべこべ劇場〃

主演、淡島みどり
加賀　邦男

〃旗本巡査〃

主演、市川右太衛門
高山　弘子

日本ニユース
文化映畫（大四十錢）

平館（松竹）

〃木石〃

監督、五所平之助
主演、夏川大二郎
木暮實千代
赤木　蘭子

〃軍國子守唄〃

主演、井染　四郎
杉　狂兒

海外ニユース
日本ニユース（大五十錢）（小十五錢）

天氣豫報

今晩　北東の風後南西の風曇り小雨模樣

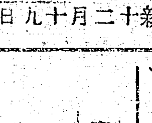
明日　北西の風稍強く晴勝です多少曇が出ます

十六日

滿潮　前六、〇五　後七、四〇

干潮　前一、　後三、〇五

舊十一月廿日　木曜　丙申　先勝　成　奎宿　新十二月十九日



▲一白　爲すこと捗らずとも後の爲と思ひ勵むべし

▲二黑　勞逸によりて運氣吉にも凶にも走り行く日

▲三碧　活氣は充實あれども横道にも入り安し注意

▲四綠　獨斷は誤り易し目上に問てすれば凡て無事

▲五黃　自ら身を省み本分を守れば吉き日と成るべし

▲六白　居ながらに幸福の舞ひ來る日氣緩みするな

▲七赤　多少意に滿たざる事ありとも氣にせず勵め

▲八白　氣短かに焦れば成るべき事も破るゝに至る

▲九紫　虛榮の爲めに徒勞し業務に怠りを生じ易し

◇土地分讓

◎玉川村大原地內
一、田畑、三十筆（湯本街道側交通便）

◎玉川村島地內
一、田、七筆（鮫川通水完備）

◎小名濱町辨別、吹松、堤の北地內
一、山林田畑、十三筆（耕整地肥沃ニシテ反當リ七俵收穫）

乞大至急御申込　契約金三割申受ケ登記ト同時ニ殘金申受ク

平市田町三番地（平驛前）
合資會社　東北商行（電六四八番）

移轉お知らせ

弊店、今般三丁目中央通り（マルトモ食堂前）に移轉從前通り營業仕り候間倍舊のお引立ご御愛顧を御願申上候

平市三丁目中央通り（マルトモ食堂前）
岡萬年筆專門店

食事。
喫茶。
酒場を兼ねた。
レストラン　サロン

營業時間
開店…午前十時
御食事は午前十一時より、
閉店…午後十一時限り、

平市銀座街
電話五九二番

安田系統の帝國海上
帝國海上火災保險株式會社
平代理店　關內正一
事務取扱者　阿部助次郎
平市二丁目　電話一六番

江戸前　天婦羅
江戸前　小料理
おでん
小名濱上町　一平

防空暗幕
天幕・シート
防水マント
カーテン・敷物、防水加工
製作販賣
●設計と施工●
敷島屋商店
平市六丁目六
電呼四八三番

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります
平市四丁目
マルトモ食堂（電話一二三番）